

2015年度 第1回 一橋大学政策フォーラム



非常時における行政対応 法学と経済学の取り組みを通じて



東日本大震災から4年半。被災地ではつち音高く復興工事が進む。だが、災害に対する危機管理を考えると、耐震性強化などハード面だけでなく、個人情報の共有や自治体間の協力体制などソフト面の充実も不可欠だ。一橋大学は9月4日、仙台市で「非常時における行政対応」と題した政策フォーラムを開催。法学部・経済学部の専門家と弁護士がそれぞれの知見を生かして議論した。

開会挨拶 研究成果を具体的な提言に



一橋大学大学院
法学研究科教授
野田 博氏

「私達は2年間、「一橋大学
法経合同研究プロジェクト」に
取り組んできた。成果を具体的
な政策提言につなげることを目
標に経済学と法学の共同研究と
して進めてきた。テーマは日本
学術振興会の「課題設定による
先導的人文・社会科学研究推進
事業」で「実社会対応プログラム
」に基づいて。

実務家から見た 大震災時における行政対応の課題



石巻市役所
法制企画官/弁護士
野村 裕氏

制度を使いこなす訓練

「石巻市は東日本大震災で最大
規模の津波被害を受けた。私は
市役所内の各部署からの法律相
談を受けているが、本日は防災
集団移動促進事業、高台移動に
ついて話したい。」

研究者から見た 大震災時における行政対応の課題



石巻市役所
法制企画官/弁護士
野村 裕氏

被災者の力を引き出す

「震災緩和」は、市町村長に
よって埋葬許可が出ない段階で
特別な火葬許可証などで焼骨
を認めるといったものだ。法律
から離れるので、行政の原理と
真に向かい合おうと考えるられ
る。東日本大震災では、「復旧
の段階では国家は個人の自由を
使った条件を回復する義務を負
うべき」と憲法上の議論で4つ
の考え方を示した。

研究者から見た 大震災時における行政対応の課題



一橋大学大学院
法学研究科准教授
薄井 一成氏

法治主義の範囲で処理

「大震災は、非常事態
に関する規定をほとん
ど持っていない憲法の
危うさを浮き彫りにし
た」として憲法に国家
緊急権規定を設けるべ
きとの考え方があ
る。だが、自然災害に限
って言えば、根本的な
問題は国、地方公共団
体における災害即応体
制の拡充強化だ。震災
緩和は法治主義の範囲
内で処理されるべきだ
と。

縮退都市の復興における建築制限



日本大学経済学部教授
中川 雅之氏

人口減少見据えて計画

「日本では今後すべての都市で
人口が減っていく。人口が減少
する「縮退都市」を抱える日本
でどういった復興が望ましいの
か。」

貴重な経験生かし先進的な事例を

講演者による討論



- （出席者）（写真右から）
佐藤 主光氏
中川 雅之氏
野村 裕氏
岡本 正氏
薄井 一成氏
野田 博氏
（コーディネーター）
一橋大学大学院
経済学研究科教授
齊藤 誠氏

「出席者」は、高層ビルなど避
難行動の要支援者に対し名簿を
作ることも今回の法改正で義務
化されたが、本誌にうまうま進
むのか。」

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

「野村 緊急時に必要と判断さ
れたら行動すべき」という
判断が正しければ、責任を
結果にはならないはずだ。た
びが自動車を家や撤去し、後か
ら「また使えなかったものがあ
った」という事例もある。現場で
中川 日本は、この防
政策や都市政策を考えると、災
務家と異分野のアカデミクス
が、やがて街の、地域の再
編成が問われている。集団移動
も含め被災地復興は、人口減少
が進む日本において先行事例に
なる可能性がある。

主催：一橋大学

お問い合わせ先：一橋大学政策フォーラム <http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/project/forum.html>